

| | | | |
|------------|---|-------------|------------|
| 会 議 録 | | 令和3年7月26日作成 | 令和7年3月末日廃棄 |
| 会議名 | 京都府亀岡警察署協議会（令和3年度第1回） | | |
| 開催日 | 令和3年7月20日（火曜日） | | |
| 時 間 | 午後3時から午後5時までの間（120分） | | |
| 場 所 | 京都府亀岡警察署 講堂 | | |
| 出席者 | 岸会長、湯浅副会長、芦田委員、大橋委員、木曾委員、長尾委員、 前田委員、森川委員、矢田委員 （欠席：國府委員、高澤委員） 計9人 | | |
| | 署長、副署長、会計課長、警務課長、地域課長、生活安全課長、 刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人 | | |
| 諮 問 事 項 | 1 管内の交通事故の発生状況と通学路対策について 2 特殊詐欺の現状について | | |
| 会 議 内 容 | 1 開会 2 会長挨拶 3 署長挨拶 4 協議 司会 広聴係長 司会 会長 | | |
| | <p>(1) 諮問事項説明</p> <p>「管内の交通事故の発生状況と通学路対策について」交通課長から説明</p> <p>【委員】保津町の保津大橋からの道路の速度規制が40キロから50キロに上げられているが、通学路もあるため、道路横断時、危険であり、40キロ規制にしてほしいと要望をしている。どういった理由で速度規制が上がったのか説明してほしい。</p> <p>【警察】速度規制を上げた経緯について、具体的な理由については承知していない。しかし、管内の全小学校の通学路を確認しており、指摘の道路状況や横断歩道については承知している。</p> <p>その路線は、道路環境である「歩道」と「車道」が明確になっており、速度を上げて安全が確保できたことにより50キロ規制になったと思われる。</p> | | |

会 議
内 容

速度規制については、インフラ事業で既に上申していただいていると思うが、警察として必要性等を協議の上、判断して書面で回答説明させていただく。

【委員】私は、通学路の横断歩道がある場所は、50キロ速度より40キロ速度にした方が良いと思う。

【委員】全国的にガードレールなどの道路環境の改善がなされ、安全な場所と判断されれば、速度を上げていく方針とも聞いている。

【警察】道路交通に関しては、交通の安全と円滑を図ることを主体としている。全ての交差点に信号機を設置する等安全を重視し過ぎると、交通の円滑が損なわれ、渋滞となる。必要な場所に信号機等の交通施設を設置している状況である。

【委員】交通安全への行政の取組としては、これまでは、車の流れを良くしたり、道路の幅を広げるなど車に対して優しい道路環境を目指していたが、これからの時代は、「人に優しい道路環境」を行政もしなければならぬと言われている。

先ほどの説明で、信号のない横断歩道において停止する車両が少ないという状況から、これからも意識して、横断しようとする方がいれば安全に停車する様にしていこうと思う。慌てて横断する方も見掛けることから、運転する側に歩行者を優先する意識がない様に感じるため、意識を改める安全教育を優先していただきたい。

【警察】交通安全教室などで、交通マナーの向上に努めていく。

【委員】千葉県の飲酒運転による悲惨な事故があり、これまで夜間や年末等に行われている飲酒運転取締りについて、今回の事故を踏まえどう対応しているのか。

【警察】飲酒の取締りは夜間が主であるが、暑い時期は、キャンプ帰りなど飲酒運転が充分予想されることから、データ化された資料などを基に、昼間帯の取締りを取り入れていく方針である。

【委員】自治会は、道路管理者や警察と連携して子どもの安全に力を入れている。亀岡市篠の小学生や滋賀県の保育園児の交通死亡事故など、悲惨な事故の発生状況から、自治会としては、子どもたちに少しでも危険リスクを遠ざける取組を行っている。

例えば、登校時に遠回りをしてでも、ゾーン30区間を通る様にしたたり、危険な場所の横断歩道を渡らないようにする取組をしている。

【委員】ゾーン30は、亀岡署管内3箇所とお聞きしたが、他のエリアも増やす予定はあるのか。

【警察】現時点で、追加の予定はない。

要望等があれば、検討の上、対応していく。

【委員】 9年前に、悲惨な交通死亡事故が発生した、亀岡市篠の小学校前はゾーン30ではないのか。

【警察】 ゾーン30はエリアとしての規制である。お話の小学校前は府道王子並河線の路線であり、ゾーン30ではないことから、対策として、速度抑制金属デバイスを設置するなど、速度が出せない形状や速度を抑止する標識、ポールなどを設置して安全対策をとっている。

【委員】 9年前に交通事故が発生した道路を利用して通勤しているが、時間規制の一方通行を逆走する車がある。標識が見えにくいのか、違反する車が多いと感じる。

【警察】 通学路対策従事中に違反車両の取締りをしている。今後も指摘の場所付近の継続した取締りを強化をしていく。

(2) 諮問事項説明

「特殊詐欺の現状について」刑事課長等から説明

【委員】 犯人側としても録音されるのは嫌でしょうし、防犯機能付電話は安心できるものである。特殊詐欺の犯罪予防に役立つのであれば、今後も多くの方に広めていただきたい。私も高齢者宅などへ広めていきたい。

【委員】 以前、私の家にも息子を騙ったオレオレ詐欺の予兆電話が二回かかってきた。その時、警察から「騙された振り作戦」の依頼を受けた。

「騙された振り作戦」で犯人が検挙された事例説明のとおり、犯人は、かけた先の電話番号を既に承知しており、地理も知っているのではないかと思うと、どこまで協力して良いのか迷う。独居の方はかなりの不安があると思う。

この様な場合どう対応すれば良いのか。

【警察】 検挙は最大の防犯であり、特殊詐欺の犯人を逮捕することが特殊詐欺の被害を減らすことにつながる。予兆電話により、来訪や直接誘導される可能性のある場合は、積極的に捜査協力を依頼している。

しかし、予兆電話を受けた方の中には、犯人側からのお礼参りを恐れたり、今後の事件の進捗に不安を感じられる方もおられることは承知している。

そういった不安を解消するには、理解が得られるよう対応などを丁寧に説明し、不安を感じたり嫌な思いをされない様に対応させていただいている。

【委員】 特殊詐欺について、今日説明を受けて、身近なことだと実感した。

私の知人も、無言電話がかかってきて、電話に出ると音声メッセージが流れ、お金を請求されたと聞いた。特殊詐欺は、様々な手口

があると思っている。

【警察】警察も捜査の中で、判明した新しい手口などについては、市民に対して積極的に広報を行い注意を促していく。

会議でご説明した特殊詐欺の現状については、委員各位、色々な方面の方に広めていただきたい。

会 議
内 容

(3) その他

【委員】まもなくオリンピック、パラリンピックが開催となるが、京都府警察からも応援に行くのか。

【警察】大会が無観客となったことから、数百人規模の応援派遣の予定がなくなった。パラリンピックについては、調整中である。

5 事務連絡

令和3年度第2回亀岡警察署協議会は、9月中旬に実施予定である。

以 上

第1回京都府亀岡警察署協議会の開催状況

